公立保育園の規模適正化について

１．公立保育園規模適正化に関する市の方針

子どもは、小学校就学前までに「生きる力の基礎となる心情、意欲、態度」が育つことが期待されています。保育園では、教育の基礎を培うとともに、子どもの最善の利益を考慮しつつ、心身ともに健やかに育成することに努める必要がありますが、小規模園では、家庭的で細やかな保育や教育ができる反面、友達が固定しやすく、交友関係や遊びに広がりや深まりが見られない等の課題があり、望ましい集団活動が実現できる環境を整えることが必要と考えています。令和２年３月に策定した「第２期魚津市子ども・子育て支援事業計画」では、適正な保育環境や、小学校規模適正化による小１ギャップの緩和などの面から、保育園の規模適正化を検討することの必要性をあげています。具体的には、片貝保育園、松倉保育園については、園児数の減少から、野方保育園は、園児数の減少と園舎の老朽化から令和６年度までに閉園を検討することとしています。

閉園等を検討する基準として、平成27年３月に策定した第１期計画では「園児数が10人以下となった園は休園を検討することとします。」と、その基準を明記しています。第２期計画では、基準について明記しておりませんが、第１期計画策定時に各地域と協議した経緯もあり、第１期計画の基準を引き続き市の判断基準と考えております。

２．片貝、松倉、野方保育園の園児数の状況

①令和４年４月１日現在（Ｒ４年度当初）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | ０歳児 | １歳児 | ２歳児 | ３歳児 | ４歳児 | ５歳児 | 計 |
| 片貝保育園 | ０ | ３ | ３ | ０ | ２ | ３ | 11 |
| 松倉保育園 | ０ | ０ | ３ | ０ | ０ | ７ | 10 |
| 野方保育園 | ０ | ０ | １ | １ | ０ | ６ | ８ |

②片貝、松倉、上野方地区の年齢別人口（令和４年４月１日現在）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | ０歳児 | １歳児 | ２歳児 | ３歳児 | ４歳児 | ５歳児 | 計 |
| 片貝地区 | ３ | ４ | ３ | ０ | ６ | ７ | 23 |
| 松倉地区 | ３ | ３ | ４ | ３ | ２ | ７ | 22 |
| 上野方地区 | 13 | 11 | ８ | 15 | 20 | 13 | 80 |

３．これまでの経緯

|  |  |
| --- | --- |
| Ｒ２.６中旬 | 片貝保育園保護者へ「公立保育園の今後に関するアンケート」実施（6.10～6.23）。理解できる１人、仕方がない10人、理解できない５人 |
| 　　 ７.29 | 片貝保育園で、保護者説明会実施。アンケート結果及び園の現状を説明し、９人の園児が卒園する令和３年度末で閉園を検討したいと提案（保護者、地域振興会等参加）。※令和２年度７月現在の在園児数は16人。その内、５歳児１人、４歳児９人。⇒令和３年度末閉園ありきではなく、皆が納得する形で進めてほしい。 |
| 　　 ９.２ | 片貝保育園で、保護者説明会を実施。「年度当初の園児数が10人以下となった場合は、その年度末で閉園する」市の方針を説明（保護者、地域振興会等参加）。⇒概ね、了承。 |
| Ｒ３.９中旬 | 松倉・野方保育園保護者へ「公立保育園の今後に関するアンケート」を実施（9.16～9.27）。松倉：理解できる１人、仕方がない13人、理解できない１人、どちらとも言えない１人、野方：理解できる１人、仕方がない11人、理解できない１人、どちらとも言えない２人 |
| 　　 10.８　　 10.12 | 松倉・野方保育園で、それぞれ保護者説明会実施。アンケート結果、園の現状と「年度当初の園児数が10人以下となった場合は、その年度末で閉園する」市の方針を説明（保護者、地域振興会長等参加）。⇒松倉自治振興会長から反対意見有。 |
| 　　 11.９ | 松倉地区から、松倉保育園存続について市長要望有。 |
| 　　 12.21 | 松倉地区の役員等へ令和４年度当初の園児数が10人になる見込みであること、10人以下が確定した場合は、令和４年度末で閉園する方針であることを説明。⇒松倉自治振興会長は、引き続き、反対。　市の方から松倉地区の方々へ説明するよう会長から提案有。 |
| Ｒ４.３.18 | 松倉区長会で、保育園の現状、閉園等に向けての市の方針を説明。 |
| 　　 ５上旬 | 片貝・野方保育園保護者等へ、再度、書面にて市の方針を案内。 |
| 　　 ５.21 | 松倉地区の役員等へ閉園の協議及び園舎利活用策の検討を依頼。 |
| 　　 ６.28 | 松倉自治振興会長へ閉園及び園舎利活用の協議を実施。 |
| 　　 ８.30 | 松倉地区要望の中で、限界集落を抱える中山間地域の存続の面から保育園の存続を求められる。 |

４．検討結果

松倉、野方保育園の令和４年度当初の園児数が、ともに10人以下となりました。野方保育園については、保護者、地区からご理解をいただきましたので、今年度末で閉園することとします。松倉保育園については、地区からのご理解が得られておらず、地域の皆さんの心情を考慮し、令和５年度の新園児募集は行わないものの、今年度末での閉園ではなく、いったん休園として、今後も保育園の運営や施設の在り方について地区と協議を続けることとします。

なお、片貝保育園につきましては、今年度当初の園児数が11人であり、園児数の推移を見ながら引き続き閉園を検討します。